



松本よし子 議会報告

〒193-0835 千人町 1-9-17 TEL 661-6626 FAX 662-0418
Eメール y44koo@nifty.com
http://www.cpi-media.jp/hachioji/ から松本よし子のface book に接続

中核市への申し出 議会基本条例

全会一致で可決

中核市

市民サービスが向上するかどうか
これから制定する条例で決まる

9月18日の本会議で市長提出の「中核市への申し出」が全会一致で可決しました。中核市は、人口30万人以上を対象とした大都市制度で、都道府県から多くの権限が委譲されます。八王子市の場合、東京都から約一、〇〇〇項目の権限が委譲されます。大きな問題は権限が委譲されても財源がどうなるかです。前々市長時代に中核市への移行に取り組みましたが、当時は約60億円もの財源負担が生じることに断念しました。しかし、この間、保健所等が移行され、財源もその影響で、37億円の負担となり、地方交付税の基準財政需要額に37億円も算定されることになりました。

市は、中核市になれば市政が変わると宣伝を強めています。しかし、問題は移譲された事務を新たな条例で規定する際に市民サービスにつながる内容を盛り込めるかどうかにかかっています。条例は、2015年4月の移行までに制定されますので、市民サービスが向上するかどうかはこれからにかかっています。

日本共産党 提案の意見書

9月2日から10月15日までの会期で定例市議会が開かれました。中核市への移行申し出、議会基本条例の制定、意見書、2012年度決算審査等重要な議案が審議されました。

オスプレイの横田配備NO!



八王子市議会の改革 基本条例を制定

今日、地方議会の在り方が鋭く問われています。全国で二元代表制に基づく地方議会の役割を改めて見直し、議会基本条例を制定し、改革に取り組む自治体が増えていきます。

八王子市議会でも4年前に「議会基本条例検討委員会」を発足させ、2年前からは特別委員会を設置し、条例制定を目指してきました。



市民と議会の意見交換会

4月23日には市民との意見交換会を開催。条例案に対する市民意見も22人から寄せていただきました。来年(2015年)4月からスタートします。議会改革が前進するよう、日本共産党市議団も全力を尽くす決意です。

賛成多数で可決

9月18日、八王子議会は、私(松本よし子)が提案説明した「垂直離着陸機CV22の横田基地配備に反対する意見書」を日本共産党、公明党、社民党、ネットなどの賛成多数で可決しました。自民党など反対、民主党は退席しました。

私は、配備に反対する理由として、①事故率が非常に高く安全性が確保されていない。②新聞も沖縄負担軽減の名で横田基地に着目している。③首都東京という人口密集地である。④基地対策連絡会の5市1町はすでに反対の要請を行っている。⑤八王子市民も航空機騒音に悩み、事故を懸念している等々を上げ、議員の賛同を求めました。

現在、三多摩では13の議会で同様の意見書が可決されています。また、市長会も10月9日付で都知事あてに緊急要請を行いました。

オスプレイ配備、ねらいは基地強化

市長も反対の行動を



オスプレイを使ったヘリボン(敵地への派兵)訓練を行う自衛隊員(前方2人)と米海兵隊員(後方2人)=10月16日、滋賀県高島市



横田基地でのパラシュート訓練

数百人規模のパラシュート訓練

横田基地ではこの間、激しい騒音をもたらず夜間飛行やパラシュート降下等、訓練強化がすすめられています。これらは沖縄の負担軽減の名で全国の基地機能の強化を狙っています。10月16日、滋賀県で日米訓練が強行、次は高知県で予定されています。防衛省は陸上自衛隊にオスプレイを導入する方向で調査費を増額、日米両政府は訓練の本土移転を進める方針を再確認しています。

危険きわまりない欠陥機

オスプレイは、開発段階から墜落死亡事故が多発。昨年はモロッコやフロリダ州で9人ももの死傷者が出る墜落事故を起こし、今年もネバダ州で機体が炎上する重大事故を起こしています。戦闘性の強い機能を持たせるために、日本の航空法では認められていない安全装置がそのまま配備されているのです。

日本では住宅密集地を避けることはできない

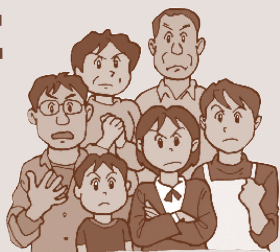
横田基地の3キロメートル圏内だけでも、小中高の学校が30数校、数々の保育所、病院、老人施設があり、住宅は密集しています。日米合同委員会はオスプレイの沖縄配備に際し、「市街地上空の飛行や夜間飛行はしない」と決めましたが、完全に反故にされています。それを首都東京横田基地で行うなどともありません。

市長に配備反対の行動をとるよう求めましたが、市長会を通じて行動するとの答弁にとどまりました。(以上、松本の一般質問より)

13億円

国保税の値上げは必要なかった

2012年度は国民健康保険税13億円、後期高齢者医療で4億8千万円、介護保険料で10億円と合わせて27億8千万円もの値上げが行われました。市民から値上げ反対の請願も提出され、党議員団は予算に反対しました。国保税では一般会計から15億5千万円もの繰り入れが削減され、値上げは必要なかったことが明らかになりました。市長は基金を32億円増やし、過去最高となる基金残高(179億円)を確保したと自慢していますが、市民負担を増やし、基金を積み増したのではたまりません。



川口中学校で好評



今年4月から川口中学校で、待望の親子方式(小学校で作った給食を中学校まで運ぶ方法)による給食が始まりました。喫食率は今年の7月、3年生は52・3%でしたが、1、2年生は80%を超え、大変好評を得ていることがわかりました。

一方、デリバリー方式は依然低い喫食率が続いています。表のように現在中学生の給食は、小中一貫校では自校方式を取り入れていますので、3つの方式で行われています。学校の規模や給食調理事業者など課題もありますが、できることから「親子方式」への拡大が現実的です。私は一層の拡大を求めました。

方式	親子方式	小中一貫校のため自校方式			デリバリー
中学校名	川口中	加住中	館中	三中	他の中学
喫食率(%)	71.2	93.3	98.4	89.5	19.8



川口中学校で

親子方式の中学校給食をすすめよう